～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～
公民館ふるさと教育推進事業　取組事例

テーマ

守ろう！つなごう！未来の子どもたちのために

事業実施地区（中学校区名）	出雲市立第一中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	今市コミュニティセンター 大津コミュニティセンター 上津コミュニティセンター

テーマの背景

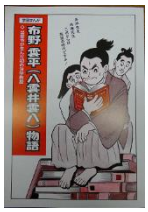
学校・家庭・地域が、地域で育てたい子ども像を共有し、連携して事業に取り組むことにより、ふるさとを見つめ直し、次世代のための地域づくりを考えるきっかけとしたい。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：講演会「ふるさとの偉人」

＜取組の概要＞



○開催日時　平成 30 年 9 月 14 日（金）9:00～10:00
○開催場所　出雲市立第一中学校
○講演講師　卜部忠治氏（郷土史家）
○参加者数　中学生・教職員・地域住民　約 500 名
○講演内容　出雲市出身の蘭学英学者「布野雲平」の生涯を描いた学習漫画を出版された地元講師の講演会を開催した。

＜成果と課題＞

○講演内容等について
・大きな功績を残したふるさとの偉人が存在していた事を子どもとともに再認識することができた。
・１人が成功するとその後を追う者が続く、皆さんも時代の流れを読む先人となって欲しいという講師の言葉は、ふるさとへの誇りを持つきっかけとなった。
・高齢になっても尚、ふるさとの偉人について探求心を持ち続け、研究をされている講師の生き方から、ふるさとに対する熱い思いを感じ取ることができた。

○アンケートより
・将来自分も時代の流れに柔軟に対応し、地元に貢献できる人になりたいなどの感想があった。

③子供たちに伝えたいテーマ・題材の事業実施

事業名：講演会「地域の宝～子どもの育ちを守るために～」

＜取組の概要＞

○開催日時　平成 30 年 11 月 17 日（土）14:00～16:00
○開催場所　出雲科学館 サイエンスホール
○講演講師　三池輝久氏
○参加者数　保・幼・小・中学校保護者　教職員　地域住民　約 100 名
○講演内容　地域の宝である子どもたちの育ちを支えるため、学校・家庭・地域が連携し合って取り組んでいくことの重要性について考える講演会を開催した。

＜成果と課題＞

○３つのコミュニティセンターと中学校区の小中学校等が連携・協働し、地域学校運営理事会等にも積極的に働きかけたことで、多くのみなさんの参加を得て、子どもたちの育ちについて考えを深めることができた。
○アンケートより抜粋
・それぞれの立場（学校・家庭・地域）で、これからできることはないか考えていきたい。
・地域をあげて一つのことに取り組むことの大切さを共有することができた。それが子どもの健やかな成長と、地域の活性化に繋がると確信した。
○講演の内容をコミュニティセンター報や学校便りに掲載したことで、地域の課題やそれに対して実際にできる取組をより多くの方に伝えることができた。

まとめ

テーマに迫るためのポイント
○講演会開催に向けて定期的に関係者による連絡会議を実施し、事業のテーマや内容について話し合い、共有した。 ○講演会のアンケート項目等をコミュニティセンター職員で協議し、今後の活動への結びつけやすいものとした。 ○講演会開催の際に、保護者が参加しやすい環境を整えるために、託児室を設けるなどした。
今後の展望
○本年度の「公民館ふるさと教育推進事業」によって、中学校区における学校・家庭・地域との連携の必要性を再認識することができた。今後の地域課題の解決に活用していきたい。 ○地域住民が同じ方向性をもって取り組んでいくことは、ふるさとに愛着を持ち、将来の地域の担い手として活躍できる大人を育てることにつながると考えている。さらに、それが地域の活性化につながっていくようになることに期待している。